

平成25年度 第1回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成25年6月25日(火) 午前10時～11時15分
会 場	中央公民館1階 集会室
出席者	<p>上野会長、梅田副会長、内海委員、宮田委員、中村委員、高野委員、園川委員、長谷川委員、小澤委員、榎本委員、塘委員、大鷲委員 12名</p> <p>松本教育長</p> <p>加藤館長(中央)、倉石館長(東)、星野館長(西)、加納館長(南)、石丸館長(北)、竹内館長(下蕨)、岡本館長(旭町)、松永係長(中央)、安部主事(中央) 9名</p> <p>小松次長(教育部次長兼生涯学習スポーツ課長)、鈴木生涯学習振興係長 2名</p> <p style="text-align: right;"><合計> 24名</p>
欠席者	大貫委員、菊池委員、松原委員
添付資料	<p>1、平成24年度事業報告</p> <p>2、利用状況調査について</p> <p>3、職員の人事異動について</p> <p>4、生涯学習活動推進事業について</p> <p>5、クールオアシス事業について</p> <p>6、平和事業について</p> <p>7、夏休み子ども事業について</p>
会 議 内 容	
<p><公民館運営審議会></p> <p>午前10時</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 上野会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本教育長挨拶 ・4月1日付で西小学校校長の榎本委員を委嘱。紹介。 ・会議資料の確認 ・市の審議会公開要綱の施行により次回からより一層の公開と傍聴を受付することについて説明、承諾。 <p>3. 前回会議録の承認</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の平成25年度人事異動について 別添資料3に基づき、中央公民館長から説明 ・教育委員会の機構改革について 教育部次長：平成25年4月1日に従来の保健体育課の学校保健係は学校教育課へ、体育係は生涯学習課へ入り、生涯学習スポーツ課へ。生涯スポーツを含め利便性向上にもなり、生涯学習の選択肢も広がること 	

期待される。

- ・平成24年度事業報告

別添資料1に基づき、各公民館長から説明

- ・公民館利用状況調査について

別添資料2に基づき、中央公民館長から説明

委員：24年度の利用延べ人数と事業報告人数に違いがあるが、どうい
うことか。

中央公民館長：利用人数とは部屋の利用人数のことであるため、屋外事
業の実施等は含まず、若干のずれがある。

委員：利用の割合は男性が非常に少ないが、原因は？

中央公民館長：本館講座を例にとってみても、高齢者学級30人中男性
の参加は2名のみの現状である。公民館から男性の参加を働きかけてい
くとともに、市民の方の積極的な参加をお願いしたい。

(2) 協議事項

- ・生涯学習活動推進事業について

別添資料4に基づき、中央公民館長から説明、委員の意見を諮問。

会長：どういうふうに行えばいいか、テーマについても意見を願う。

委員：なるべく地域の方に関わってもらい、いろんな意見を出してもら
うのがよいのではないか。

委員：開催側は催しの内容を定める際、地元にはゆかりのある人たちにと
いっしょに行うことが参加者にとっても共感につながり、よいのではな
いか。

委員：様々なところからの意見を募集するのはよいことである。一般の
人、特に身近で専門的な方に加わってもらうのはどうか。

委員：以前、公募の委員は一人であった。委員として出てくる人は決ま
っているので、若い世代、今まで参加していなかった人への呼びかけが
必要ではないか。

委員：蕨市民として関心もてることがよいのではないか。人口密度日本
一、成年式発祥の地以外にもアピールできることを増やして地域の活性
化をはかるのはどうか。

委員：委員をいろいろな団体から幅広く選ぶのがよいと思う。

委員：地元の人に関わり合って、みんなが関われるテーマが見つかれば
よいのではないか。蕨が全国に発信できるような事業があればよいと思
う。皆で力をあわせてやっていきたい。

委員：実行委員の選抜が難しいところである。この事業がまだ認知され
ていないところからの公募であるので、興味を持つ以前に推薦されてし
まっているような感じがある。事業を広めてからの公募のほうがよいの
ではないか。万人の興味を得られるテーマは難しく、ピン트가ぼやけて
しまう。

蕨市民、地域のことをもっと、ということは素晴らしい。公民館活動、生涯学習活動を通じて蕨の魅力を発信していくのはとてもよいことである。

副会長：皆で意見を出し合いながら行っていきたい。

委員：コンサートなどの市民の感覚に訴えるものがよいと感じる。コンサートでは年配の方は多いが、若い人がいないので、若い人へ周知してはどうか。学校側からすると地域の素晴らしい方を呼び、学校で子どもに良いものに触れさせたい。

会長：公民館活動は開始から約62年経ってもまだ周知されていない。だからこそ目的に合うように生涯学習の集大成を盛り込んでいく必要がある。地域の素晴らしい人を出すことも必要だが、若い人への広がりをもっていくことも課題である。

(3) その他

- ・クールオアシス事業、平和事業、夏休み子ども事業について

別添資料5、6、7に基づき、中央公民館長から説明。

委員：子ども事業の周知の仕方はどうなっているか。

中央公民館長：各学校にチラシを配布している。申し込みは直接子どもが申し込む等の方法で受け付けている。抽選等によりなるべく子どもの希望に沿うようなかたちで受講者決定を行っている。

委員：町会掲示板のチラシ掲示の仕方はものによりばらつきがあるようだが、どのように行っているのか。

中央公民館長：町会事務の軽減のため、全戸配布や回覧は毎月1日と15日に統一して配布をお願いしている。ポスターは町会長に依頼し、基本的に掲示、撤去は依頼主側で行うことが原則になっている。

会長：掲示したら必ずはがすこと、貼り方も後の掲示のことも考えて貼るなどマナーを守って利用していきたい。

- ・社会教育関係団体活動資料の提出について

生涯学習振興係長：平成25年より団体届出書提出が毎年から3年に1回になった。内容変更の際は変更届の提出をお願いすることとなる。

- ・公民館耐震診断について

東公民館長：公民館でも今後耐震化工事が行われる。そのため、今年度は耐震診断を行う。利用者の方には作業中ご不便をおかけすることもあるかもしれないがご理解をお願いしたい。

- ・その他

委員：妻沼に学童疎開していたので友人がたくさんおり、町の宣伝を依頼された。中央公民館の研修会で妻沼町出身の荻野吟子の話をする事になっている。そのような話題がひとつあると、街が盛り上がって良い。

